

## ①経営体の概要

- 所在地:大分県宇佐市
- 経営体名:酒井 勝洋
- 栽培作物:水稲、飼料用米、WCS、大豆、はだか麦、大麦若葉
- 作付面積:約30ha
- 従業員数:家族4名(経営者夫妻、両親)臨時5名

## ②導入技術・システム(商品名・サービス名と企業名)

- 圃場管理システム(アグリノート:ウォーターセル(株))



- 自動操舵補助システム  
(EZ-Pilot:(株)ニコン・トリンプ)
- 直進アシスト田植機(さなえNP80D-Z:イセキ)
- 自動給水ゲート(水まわりくん:積水化学工業(株))

## ③導入の経緯

- 農地の大規模化に伴い、「農作業を楽にする」ために新たな農業技術・機械の導入は必須。
- インターネットや全国の若手農業者とSNSにより情報収集。

## ④導入に当たり活用した補助事業等(国、県)

- なし

## ⑤導入してどうだったか(その1 導入前との比較、効果)

- ほ場管理システム
  - ・ ほ場の場所、面積、栽培品目等を登録することでほ場管理が楽になった。
  - ・ ほ場毎に作業記録を入力し進捗状況を見える化でき、計画的な作業ができるようになった。
  - ・ 使用料は500円/月とリーズナブル。

## ⑥導入してどうだったか(その2 改善してほしい点、課題)

- ほ場管理システム
  - ・ ほ場データなどの初期登録は、ほ場が多いほど手間がかかる。  
また、パソコンで登録する必要があるが、スマートフォンでも簡単に入力できるよう改善を希望。